

- ご使用の前に、必ずこの「取扱説明書」をよく読み、正しくお使い下さい。
- 「安全上のご注意」に示した注意事項は、誤った取り扱いをしたとき、死亡や重傷等の重大な結果に結びつく可能性が大きいものを記載しています。

|                 |   |
|-----------------|---|
| 適用ガス種           | 都市ガス専用  |
| 用途              | 常設形(固定形)ガス機器専用<br>(移動設置形ガス機器へは、使用しないで下さい)                 |
| 製造元             | JFE継手株式会社<br>大阪府岸和田市田治米町153番地の1<br>電話 072 (445) 0285 (代表) |
|                 |   |
| 4 0 8 1 0 6 0 1 |   |

安全上のご注意

**警告**

【ご使用される方へ】

- 本製品は都市ガス専用です。他の用途(プロパンガス・水等)には絶対使用しないで下さい。
- 不必要に曲げ・ねじり及び伸縮させたり、外力や振動を加えたりしないで下さい。性能が低下し、漏れ・ガス漏れ等の原因になります。
- 化学薬品の影響を受ける場所や炎や熱が直接触れたり高温になる可能性のある場所には使用しないで下さい。
- 継ぎ足し、二設分岐などで使用しないで下さい。
- 接続工事は、専門の知識、技術を備えた有資格者が行うか、ガス可とう管接続工事監督者の監督の下で行って下さい。
- 接続後、ガス機器は移動させないで下さい。(清掃などによる一時的な移動も行わないで下さい。)

【工事される方へ】

- 本製品は、屋内用です。屋外に設置する機器に使用する場合は、耐候性を有する屋内・屋外用(保護カバー付)をご使用ください。また、キャビネット内など調味料等の影響を受ける場所にも屋内・屋外用(保護カバー付)をご使用ください。
- GHP(ガスヒートポンプ)などの外力や振動が加わる場所、化学薬品の影響を受ける場所や炎や熱が直接触れたり高温になる可能性のある場所には設置しないでください。
- 接続工事は、専門の知識、技術を備えた有資格者が行うか、ガス可とう管接続工事監督者の監督の下で行って下さい。
- 締め付けは、金具部分で行い、フレキシブルチューブに直接工具をかけないで下さい。
- 接続完了後は、必ず、気密試験を行い、漏れのないことを確認してください。
- ガス器具取り替え時及び移設時は、必ず新品のメタルホースと交換して下さい。

**注意**

【ご使用される方へ】

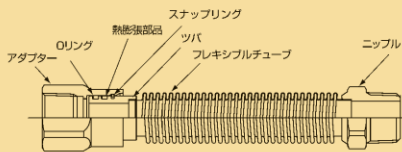
- フレキシブルチューブ外面に亀裂・ひび割れ・切傷・摩耗・ふくれなど異常が認められる場合やねじ部・金具部に割れ・変形・著しい錆などが発生している場合は、ガス漏れの原因となるため、ただちに使用を中止し、新品に取り替えて下さい。

【工事される方へ】

- 曲げる場合は、裏面記載の最小曲げ半径以上で取り付けて下さい。最小曲げ半径未満での取り付けは、フレキシブルチューブの割れ、ガス漏れ等の原因になります。
- 接続は、裏面記載の接続可能範囲(一例)を参考に接続して下さい。接続可能範囲内であっても最小曲げ半径は守って下さい。
- 金具部(アダプター・ニップル)を締め付けるときは、スリパ又はモンキーレンチにて指定トルク(40N・m)まで締め付けて下さい。(ハイプレシジョン使用厳禁)また、指定トルク未満での締め付けは、ガス漏れの原因になります。
- 施工中、フレキシブルチューブの保護被膜に傷をつけないようにして下さい。保護被膜の損傷は、ガス漏れの原因になります。
- 接続工完了後は、同封の「ガス可とう管接続工事の表示」ラベルに必要事項を記入し、フレキシブルチューブに貼り付けて下さい。
- ガス機器を取り外される場合は、ガス栓にプラグを接続し、漏れの無いことを確認して下さい。

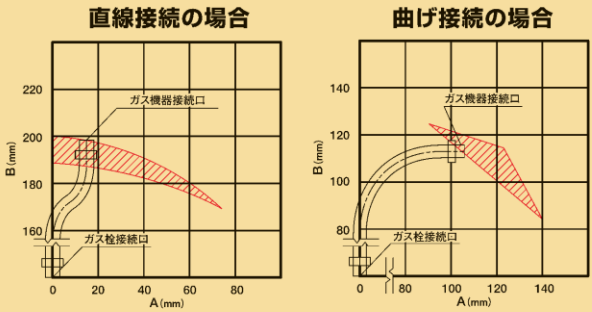
●工事される方は、ご使用される方へ「安全上のご注意」の説明をお願いします。 **MADE IN JAPAN**

構造図



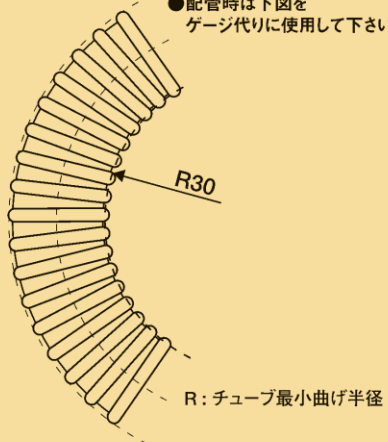
接続可能範囲

- ガス栓とガス機器との接続可能範囲の例を下図に示します。
- 接続可能範囲を超えるものは接続できません。



最小曲げ半径

- 配管時は下図をゲージ代りに使用して下さい。



※斜線の範囲がガス機器接続口の接続可能範囲である。

R: チューブ最小曲げ半径